

開催案内

第160回コンソーシアム人材セミナー

～チーム（協働・共創）で、未知・不可能にチャレンジ～

「博士」が活躍すべき現場で、「博士」は如何に活躍するか？！

想定外を想定し、課題に対応 《小惑星探査機「はやぶさ2」プロジェクトチーム》

令和5年11月24日（金）

14:35～16:05

会場

広島大学東広島キャンパス 総合科学部 講義室

会場に来ることができない方には
オンライン（ライブ配信）でご視聴いただきます

対象

博士課程後期・前期学生、学部生、ポスドク、教職員 どなたでも

11月上旬に
確定します

申込締切り

11月20日（月）正午

参加費無料

お申込みいただいた方には、申込締切り後、
メールにて 参加方法等 をご連絡します

講演要旨

はやぶさ2は、「もう打つ手がない」と途方に暮れるほどの「壁」に何度も突き当たりましたが、その全てをメンバーの総力で乗り越え、「9つの世界初」を成し遂げました。

プロジェクトチームは、どのようにして、「壁」に対処し、プロジェクトの成果を地球に持ち帰ったのでしょうか？

総勢600人のメンバーを束ねた津田プロジェクトマネージャーにお話いただきます。

◆チームの「理想像」

◆「『想定外』を想定できる」チームづくり

・多くのメンバーが協力的に運用に参画できる「しくみ」 ほか

◆「『想定外』を想定する力」を養う訓練

・訓練で培われた、多様な「答え」を考え続ける柔軟な発想力 ほか

◆チームの総合力を引き出した「建設的な意思決定」

・専門性に基づく意見を集約し判断できる「オープンな組織」 ほか

◆理想のチームに欠かせない2大要素

◆理想のリーダー像は、リーダーの数だけあっていいはず。

自分の得意なこと、自分にできること、面白くてやり甲斐のある仕事は、人それぞれ。

※卒業後、多様な職場での活躍を期待される学生の皆様へのアドバイス、コメントもあります。

津田流プロジェクトマネジメントの「理」

講師の紹介

1975年 広島県生まれ

2003年3月 東京大学 工学系研究科 航空宇宙工学専攻修了 博士（工学）

2003年4月 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 助教

2008年3月-2008年7月 ミシガン大学 航空宇宙工学科 客員研究員

2008年8月-2009年3月 コロラド大学ボルダー 航空宇宙工学科 客員研究員

2014年7月-2019年12月 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 准教授

2020年1月-現在 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授

研究分野 航空宇宙工学、太陽系探査



講師：津田 雄一 氏

申込方法

QRコードまたは

下記 URL からアクセスし

応募フォームからお申込みください。

URL: <https://forms.gle/WNrw3AZDJoR6K7LR6>



お問い合わせ

広島大学グローバルキャリアデザインセンター（担当：宮地）

TEL: 082-424-4564

E-mail: wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp

主催

未来を拓く地方協奏プラットフォーム（HIRAKU）